

移植後 **15** 日から

使えるように  
なりました!



15日

大きくなった  
**ノビエ**

しつこい  
**オモダカ**

やっかいな  
**クログワイ**

**5**葉期まで



**あとはまかせる!**

水稲用 **中・後期** 除草剤

農林水産省登録 第22371号



# フォローアップ®

ダイムロン・ペノキスラム粒剤

フォローアップは三井化学アグロ(株)の登録商標です

## 1キロ粒剤

● **幅広い雑草に!**



ホタルイ



ウリカワ



コナギ



アゼナ類



ミスガヤツリ



シズイ

● **湛水状態で処理できます!**

● **直播水稲にも!**



農林水産省「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載された農薬です。



三井化学アグロ株式会社

# フォローアップ<sup>®</sup>1キロ粒剤

- 有効成分：ダイムロン………10.0%  
ペノキシラム………0.60%
- 人畜毒性：普通物※
- ※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

**水稲用中・後期除草剤です！**

初期剤、一発剤との体系で使用する場合、中・後期除草剤です。直播水稲にも使用できます。

**湛水処理ができます！**

薬剤を処理するに当たって、田面水を落とす必要がありません。湛水状態のままでも散布できます。

**5葉期のノビエまで高い効果！**

ペノキシラムの特性により、ノビエ5葉期まで高い効果を示します。

**殺草スペクトルが広い！**

ペノキシラムの特性により、幅広い雑草に効果があります。

**直播水稲にも使用できます！**

稲3葉期～ノビエ5葉期で使用できます。

2017年7月1日現在

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペノキシラムを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ コウキヤガラ ヒルムシロ セリ シズイ	移植後15日～ノビエ5葉期 (稲4葉期以降) ただし、収穫60日前まで	1kg/10a	1回	湛水散布 又は無人ヘリコプター による散布	3回以内 (育苗箱散布は 1回以内、 本田では2回以内)	2回以内
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲3葉期～ノビエ5葉期 ただし、収穫60日前まで					

**使用基準**

◎処理時水深は**3cm**程度をおすすめします。

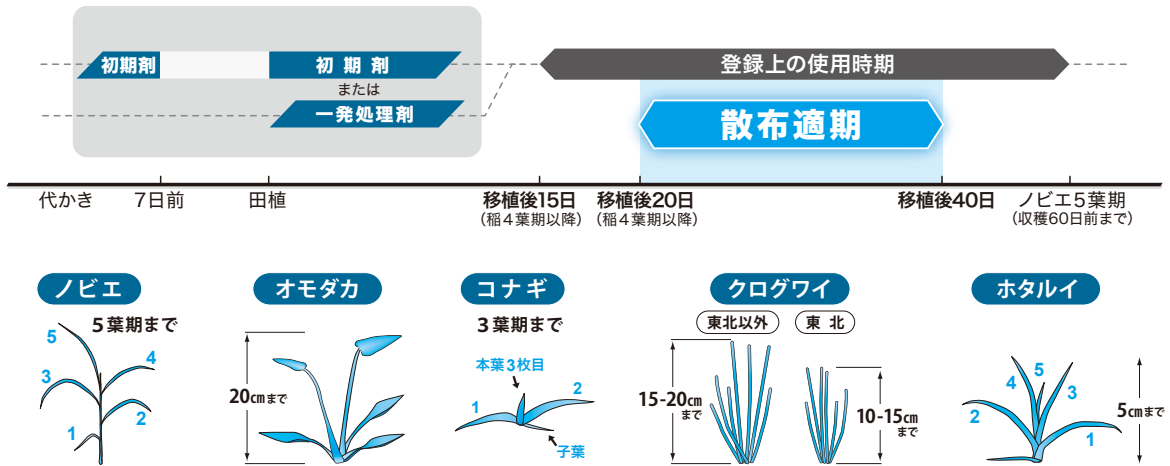
◎薬剤処理後は、少なくとも3日間は入水しないでください。

◎移植前後の初期剤、一発処理剤との体系で使用してください。

◎散布適期は、**移植後20～40日後**です。

◎雑草の生育状況を見て、**タイミングを逃さない**ように散布してください。

**上手な使い方 (移植水稲の場合)**



**注意事項**

- 多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイは、移植水稲で5葉期まで、直播水稲で4葉期まで。ミズガヤツリは、移植水稲で5葉期まで、直播水稲で3葉期まで。ウリカワは、移植水稲で6葉期まで、直播水稲で3葉期まで。ヘラオモダカは4葉期まで。クログワイは草丈30cmまで。オモダカは草丈30cm(発生盛期～矢じり葉抽出期)まで。コウキヤガラは草丈15cmまで。ヒルムシロは、移植水稲で生育期まで、直播水稲で発生期まで。セリは、移植水稲で生育期まで、直播水稲で再生前～再生始期まで。シズイは、草丈10cmまで。
- クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは有効な前処理剤と組み合わせて使用してください。また、クログワイ、オモダカに有効な前処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上します。
- 苗の植付けが均一となるようにかきまきをいねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にいねいに行ってください。
- 散布に当たっては、水深3～5cmの湛水状態で田面に均一に散布してください。水の出入りを止めて、少なくとも3～5日間はそのままの湛水状態を保ち、田面を露出させないように注意してください。散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
  - ①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
  - ②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - ③事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
  - ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布してください。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失ないように散布してください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
  - ①砂質土壌の水田及び漏水田(湛水深2cm/日以上)
  - ②軟弱な苗を移植した水田
  - ③極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
  - ④稲の根が露出している水田
- 本剤の使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
- 処理後数日間暑しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤はその殺草特性からいさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 散布田の水田水を他の作物に湛水しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記帳しましょう。

\*本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。  
\*本印刷物は2017年7月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。